

- ◆企画名 ピアエリア広報・掲示
日 程 平成 25 年 6 月 27 日 (木) ～11 月 22 日 (金)
場 所 総合学生会館凜風館 1 階 ピアエリア
参加者数 8 名 (ピア・サポータ 4 名、研修生 4 名)
目 的

- ・関大生に対するピア・コミュニティとピアエリアの周知。
- ・ピア・コミュニティ内におけるサポータ同士の交流を促進する。
- ・ピアエリアを活気づける。
- ・サポータとしての意識向上を目指す。

内 容

《コミュニティ紹介班》

- ①各コミュニティに対し原稿を依頼してそれぞれのコミュニティの概要や主な活動をまとめてもらう。
- ②提出されたものを運営本部がデータにまとめて模造紙に貼り付け、学生センターに面した壁に掲示し、ピア・コミュニティがどういった団体であるかについてピアエリアを利用する一般学生に広報する。

《自己紹介班》

- ①自己紹介カードを作成する。
- ②作成したカードを各コミュニティの代表を通して各サポータ(及び研修生)に配付し自己紹介文を書いてもらったのち回収する。また自己紹介の内容の一部として「ピア・コミュニティで取り組みたいこと」を設け、各サポータのサポータとしての意識向上を目指す。
- ③回収したカードをピアエリアのドア横の壁に掲示することで、ピアエリアがピア・サポータの活動場所として使用されていることを一般学生に対して広報し、またピア・サポータ同士の互いに対する興味関心を引きだし交流を促進する。

感 想

- ・今までの企画よりもサポータそれぞれが主体的に活動することができたと思う。
- ・一般学生に各コミュニティの概要とピア・サポート活動やピア・サポータについて知ってもらう機会を増やすことができた。ピアエリアがよりピアエリアらしくなったと思う。
- ・ピア・コミュニティにどんなコミュニティがあるか一目でわかるようになってよかった。

改善点

《コミュニティ紹介班》

- ・企画実施のための準備に関して、当初は 7 月中に掲示をする計画であったが、各コミュニティに対する文面作成の依頼を、メールでしか行わなかったために、上手く伝わらず、混乱を招いてしまった。
- ・掲示内容をまとめることに非常に時間がかかってしまい、大幅に掲示が遅れてしまった。

《自己紹介班》

- ・本来の完成予定時期を、全体夏合宿の準備などが途中から入ってしまったために遅らせてしまうことになった。全体夏合宿の準備開始時期を事前に把握してスケジュールを設計することが必要だった。
- ・配付した自己紹介カードの回収が遅れてしまった。代表を通して回収を呼び掛けたがサポータ個人への声掛けを早期からしていくべきだった。